

HEART NEWS

2019年7月1日発行

Vol. 38

大阪市立総合医療センター循環器センター

<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>



岡山大学循環器内科・伊藤浩先生が代表世話人、そして当センター・阿部医師と東京ベイ浦安市川医療センターの渡辺弘之先生が企画運営を務める心血管エコー検査の教育プログラム『The Echo Live』、第18回となるThe Echo Live 2019は6月15-16日に大阪松下IMPホールで開催されました。おかげさまで大盛況のうちに終わることができました。松村医師が症例を提示した新企画・症例徹底闘論は大層盛り上がりました。参加いただいた皆様、協力いただいた皆様、本当に有難うございました。次回 The Echo Live 2020は、2020年 5/30-31日に大阪ビジネスパーク円形ホールで開催する予定です。またお会いできるその日まで、Have A Nice ECHO!

今年も、半ばを過ぎてしまいましたが、皆さまお元気でお過ごしでしょうか？

新年度に、循環器内科、心臓血管外科へ着任した医師は3ヶ月たちようやく当院の体制に慣れてきたように思います。

当センターでは、現在、新しい補助循環システムであるインペラ（IMPELLA）補助循環用ポンプカテーテルの導入に向け、循環器内科、心臓血管外科、集中治療センター、救命救急センター、麻酔科の医師、各部署の看護師、臨床工学技士で準備を進めています。インペラ導入により、これまで救命率の低かった劇症型心筋炎や急性心筋梗塞症の患者さんや低心機能の心臓手術に効果が期待されています。

今回は、阿部幸雄先生から、2年前から当院と北野病院で開始した大阪心不全地域連携の会（Osaka Stops HEart Failure, OSHEF）の活動状況と村上貴志心臓血管部長から胸腔鏡下心臓手術（Minimally invasive cardiac surgery: MICSミックス）の開始について紹介して頂きます。

循環器センターのHP (<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>) もリニュアルしていますので是非閲覧ください。

大阪市立総合医療センター 循環器センター長

循環器内科部長

成子 隆彦

大阪心不全地域医療連携の会 (Osaka Stops HEart Failure, OSHEF)

循環器内科 副部長 阿部 幸雄

北野病院と当院、近隣のクリニックの先生方で協力し、2017年に始めたOSHEF。今や大阪市北部のみならず市全体あるいは府全体にまでOSHEFの輪が広がりつつあります。高齢化社会で増え続ける心不全患者の心不全再入院を防ぐのが第1目的です。3つのツールを使うこと(図1)、心不全ポイントにしたがった早期受診行動をとっていただくこと(図2)が本会の特徴です。当院における、ワークフロー(図3)と現在までのクリニカルパス導入患者数(図4)を示しました。どうぞ今後ともご協力をお願い申し上げます。

図1. OSHEF の3つのツール



図2. 自己管理用紙に記載する心不全ポイントに従った早期受診のタイミング

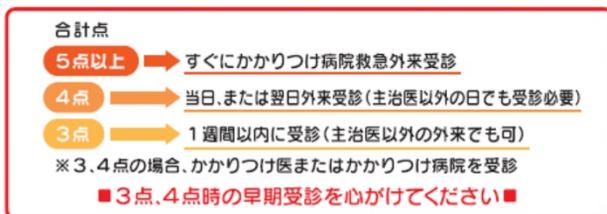


図3. 当院でのワーク・フロー

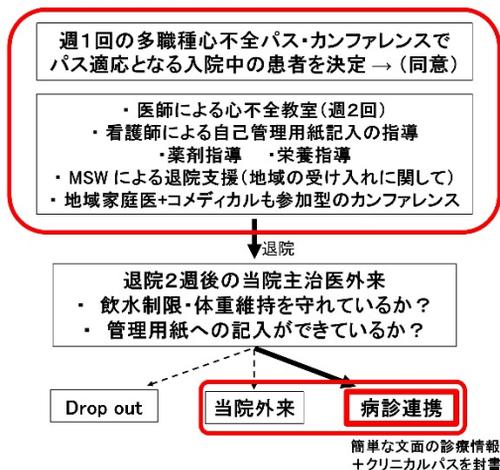


図4. 当院の連携の現状について

運用開始: 2017年2月~2019年5月(2年3か月間)

かかりつけ医連携患者: 69名	合計 90名
当院フォロー患者: 21名	

連携医療機関数: 65機関
 連携医療機関住所: 主に大阪市内
 他に大東市、守口市、四条畷市、東大阪市、貝塚市

脱落数: 17件
 脱落理由: 死亡、他の疾病発症、透析導入、本人拒否
 他者の協力が得られなくなった等

循環器内科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	阿部	松村	中達(ペースメーカ) 占野	仲川	成子
午後	阿部	松村		仲川 (肥大型心筋症)	成子
	占野(ペースメーカ)				林

地域初診外来

	月	火	水	木	金
午前	成子	齋藤	阿部	成子	松本
					林(不整脈)
午後		齋藤(末梢動脈)	占野(不整脈)		松本(TAVI)

胸腔鏡下心臓手術

(Minimally invasive cardiac surgery: MICSミックス)の開始について 心臓血管外科部長 村上 貴志

2019年4月より、**胸腔鏡下心臓手術** (Minimally invasive cardiac surgery: **MICS**ミックス)を開始しております。

従来の心臓手術は、胸の正面正中を縦に、胸骨を切開して手術を行ってきました。現在我々が
行っている**胸腔鏡下心臓手術**は、肋間に小切開を加え、内視鏡を挿入して手術を行う方法です。

胸腔鏡下心臓手術では胸骨を切開しないため、胸郭の安定性に優れ、早期の社会復帰や疼痛の軽減、整容性、輸血量の減少などの利点が指摘されます。4月以降の単独弁膜症手術の75%を、胸腔鏡下手術で行っております。

4月1日から6月24日の間の単独弁膜症疾患の治療方法

- 1) 経カテーテル的大動脈弁置換術 (TAVI) 10例
- 2) 小切開大動脈弁置換術 (MICS AVR) 2例
- 3) 小切開僧帽弁手術 (MICS Mitral) 7例
- 4) 胸骨正中切開からの大動脈弁置換術 3例

ほとんどの症例に、低侵襲治療を行っております。ご高齢者への手術も増えておりますので、できるだけ低侵襲な治療をご提供できるよう、循環器内科ともども取り組んでいきたいと思っております。

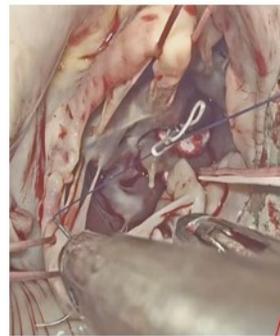


肋骨の間から内視鏡を挿入して手術を行います

従来から行われている胸骨正中切開創



胸腔鏡下心臓手術



僧帽弁形成術 (Loop technique)



手術創

心臓血管外科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	青山	村上	阪口	下肢静脈瘤外来	尾藤
午後	青山	村上	阪口	青山	尾藤

診察予約(地域医療連携室)

TEL:06-6929-3643 FAX:06-6929-0886

平日 8:45~20:00

今号の循環器日記

我々循環器センターでは、臨床・教育・研究のいずれもが欠けることのないように力を入れております。国内学会をはじめ国際学会でも発表を行ったり、教育プログラムの運営を行ったりしています。今回は、2019年5月に行われた日本心エコー学会（@松本市）で発表した野村医師（上段左）、6月に行われた木曜カンファレンス（@北野病院）で発表した坂本医師（上段右）、日本循環器学会地方会（@京都）で発表した村上心臓血管外科部長（中段左）、中達医師（中段右、松村医師とともに）、新田目医師（下段左）、松木医師（研修医、下段右）の写真を掲載させていただきました。当センターでは、臨床や研究の成果を院外に発信して広い意味で医療に貢献することができるように平素から努力しております。しかし、院外で学んだことを持ち帰って患者さんや地域医療のお役に立つことが最大の目標です。今後ともご支援をお願い申し上げます。



当院循環器内科、心臓血管外科は近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受けられるようにするため、循環器センター直通電話（ハートライン）を設置しております。

ハートライン（循環器センター直通電話）

06-7662-7979

その他の場合は、御面倒ですが、06-6929-1221（病院代表）から呼び出して下さい。